



春されば

木未隠りて

うぐひすそ

鳴きて去ぬなる

梅が下枝に

山氏若麻呂(サンジンワカマロ)

「春になると、梢に隠れてウグイス(鶯)が、ウメの下枝に
鳴きながら飛び移って行くのが感じられるよ」

果樹が実を結ぶまでの年月を示すことわざで、『桃栗三年、柿八年』と言いますが、この後に『梅はすいすい十三年、柚子の大馬鹿十八年』と続きます。地方によっては、梅が十八年というところもあるようです。

梅はバラ科サクランボ属の植物で桃と一緒にですが、成長の度合いは梅の方が桃よりも十年も遅く、その分木が衰えるのも遅いと言われています。

成長の度合いで言えば、柚子にいたっては最も遅く、忘れた頃に結実するので、大馬鹿と呼ばれたようです。柚子はミカン科ミカン属です。

参考 「万葉の花」